

1 平成30年度 学校経営計画書

石川県立金沢北陵高等学校

学校長 田井友章

1. 教育目標

- ①社会の変化に主体的に対応できる資質や能力を身につけた創造性豊かな人間を育成する。
- ②生徒一人ひとりの個性を最大限に伸ばさせ、生涯にわたって継続的に学習する意欲や態度を育成する。
- ③自己の進路への自覚を深め、判断力と実践力を備えた心豊かな人間を育成する。

2. 中・長期的目標

(1) 学校の現状

- ①全体的には落ち着いた雰囲気であり、皆出席者が増加していることなどからも生活習慣は向上傾向にあるとみられる。今後さらに規範意識を醸成し、服装・言葉遣い・挨拶などにおいて品位ある言動がとれるよう指導していく必要がある。
- ②4系列の特色を活かすことはもちろん、系列横断的な取り組みや各資格試験に挑戦させることで、生徒個々にもっと自信をつけさせる必要がある。また、部活動は全体的に熱心に取り組んでいるが、学校の活力となるまでには至っていない。
- ③3年間の系統立てた組織的なキャリア教育により、大学進学から就職に至る多様な進路実現を可能にする支援体制がある。教員には、その多様さに応えられるだけの一層の高い指導力が求められている。
- ④本校の総合学科について、地域や保護者の方々、中学校により深く理解してもらうため、ウェブページ等で積極的に情報を発信していく必要がある。

(2) 生徒に関する中・長期的目標

- ①基本的な生活習慣と、品位ある生活態度や高い規範意識を身につけさせる。
- ②生徒一人ひとりに応じたきめ細かい学習活動を行い、学ぶことの楽しさや成就感、学習に対する自信を得る活動をさせる。
- ③主体的に学習する態度を養い、自らの能力・適性を見出し、進路実現の意欲と望ましい職業観を形成させる。
- ④生徒会活動、部活動、地域貢献活動の充実を図り、心豊かな人間を育成する。

(3) 教職員、学校組織等の望ましい在り方に関する中・長期的目標

- ①総合学科の教育理念に基づき、全教職員の意識改革を進め、一致協力した組織的・機動的な学校運営に努める。
- ②各教科の専門性を高めるとともに、生徒の学習意欲を向上させるため、絶えず授業の工夫・改善を図り、教職員の資質向上に努める。
- ③地域社会とのつながりを深め、保護者・地域住民から信頼され、期待される活力ある学校づくりを行う。
- ④これまでの働き方を見直し、教育の質を落とさず時間外勤務の縮減を図るなど業務の改善に努める。

3. 今年度の重点目標

- ①基本的な生活習慣、規範意識の一層の向上を図るとともに、皆出席者の増加を目指す。
- ②生徒の学習意欲の喚起を図るために授業改善を進め、生徒がわかる喜びや学ぶ意義を実感できるように努める。
- ③組織的なキャリア教育と面談によりガイダンス機能を充実させ、生徒の能力や適性に合った進路を実現させる。
- ④目標と計画性のある部活動を通して、人間力の育成と学校の活性化を図る。
- ⑤多忙化改善プロジェクト委員会が具体的取組計画を作成し、全職員で実践に努める。